

2021

May

283号



●医療法人創和会広報誌はあもにい / 発行 医療法人創和会 理事長 重井文博
令和3年5月1日発行



第62回 全日本病院学会 in 岡山 ～ハイブリッド方式(現地+WEB)で開催～

創和会本部 理事長補佐 服部 新生
第62回全日本病院学会 in 岡山 事務局担当

広報誌はあもにい4月号でもお知らせした通り、第62回全日本病院学会 in 岡山につきましては、本年4月1日から演題募集が始まり、併せて4月28日からは事前参加登録も開始と、現在8月の開催に向けて、学会実行委員長の重井理事長とともに鋭意準備を進めているところです。

当初、今学会は昨年9月の開催に向けて、一昨年の愛知学会では大々的なPRを行い手ごたえをつかみ、演題募集及び事前参加登録は開始直後から両院の皆さまをはじめ多くの方々から登録をいただき、課題であった協賛募集も創和会の皆さまのご協力のおかげで順調に進み、特にどの学会でも苦労したと伝えられていた協賛企業によるランチョンセミナーの確保については枠を超えるお申込みをいただき、どう調整をしようかといわゆる嬉しい悲鳴を上げていた状況で、大成功間違いなしと考えておりました。そうした折、新型コロナウイルス感染症拡大となり、状況から開催困難と判断、関係者一同大変残念な思いをいたしました。

その後、開催方式の検討や開催自体の是非について、コロナ感染の状況を見ながら、主体となる実行コア会議や全日病担当委員会でも何度も協議を重ねました。最終的にはこのコロナ禍の現状において、昨今学会の主流となっている現地開催と一部WEBを併用したハイブリッド方式とし、1年延期した本年8月に開催と決定した次第です。

そして心機一転、新たな学会テーマを「**コロナ禍での病院経営～持続可能へのチャレンジ！～**」と定め、日本を代表する病院団体長や医療関係の著名な方々にお集まりいただき、コロナ禍における日本の医療提供体制や病院経営に関する提言をいただくことから、壮絶な医療現場の最前線においていかにコロナに立ち向かい、そしてどのような工夫が功を奏したかなどの身近な問題に加え、コロナ関連以外でも現状に即した幅広い内容のプログラムを用意するなど、多くの方々にご満足いただける学会となるよう知恵を絞っています。

今学会では、当然ながら感染対策には力を入れ万全の態勢で臨むべく環境を整えてまいります。この先のコロナ感染症の状況においては完全WEB等再度開催方式の見直しを余儀なくされるかもしれません。ただ、どのような状況となっても対応できるよう工夫を凝らし体制を整えていく所存です。皆さまにおかれましてはまずは一度「全日病学会岡山」で検索いただき学会WEBページにてその内容をご覧くださいとともに、今後も直近の情報をご確認いただけると幸いです。

この先も学会の成功に向け全力で取り組んでまいります。皆さまにもまたお願いをすることがあるかと思ひます。何卒ご支援、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

新入職員研修を実施

～今年もたくさんの新入職員を迎えました～

■しげい病院

医療支援部 総務課 比津 守弘

4月1日（木）から4日間、新入職員研修を行いました。前年に続き、今年度の研修も新型コロナウイルスの影響により日程を短縮し、感染予防に留意しての開催となりました。

コロナ禍において新人研修も臨地実習が制限されオンライン研修が増えた中で、研修後、現場に配属される新人の皆さんの緊張を例年以上に感じました。

これから業務を遂行していく中で、成功することも失敗することもあると思います。分からないことがあればいつでも、頼れる先輩や上司が優しく教えてくれるので、一人で抱え込まず、すぐに報告・連絡・相談をしてください。少しずつ自分ができることを増やしていくことが大事だと思います。

新入職員研修での学びを活かしつつ、自分のペースで頑張っていきましょう。



▲入職式



▲安全課より説明



▲院内見学



▲PPE 着脱の説明



▲グループワーク



▲移乗実習



▲食堂利用の説明

■ 研究所附属病院

事務部 総務課 課長補佐 小原 哲夫

4月2日（金）新入職員総勢20名が入職しました。入職式を終えたニューフェイスたちは新入職員研修に参加しました。研究所附属病院の研修は「なぜ働くのか」「社会人としての基本マナー」という働く上での基本的なマインド研修から、実際に就業するにあたって必要となる基礎スキル研修を4日間かけて行います。

初日は「社会人の基礎知識」「病院の理念」「創

和会の沿革」などをテーマとした座学を実施し、2日目以降は「接遇」「感染管理」「医療安全」「AED・医療ガスの取り扱い」など徐々に医療現場で働く上での実践的な研修に移行していきました。

4日間の短期間で成長していく新人たちを見ているととても頼もしく、将来の重井医学研究所附属病院を支える大きな力となっただけで



▲辞令交付



▲新人代表の挨拶



▲移乗実習



▲アイスブレイク（他者紹介の様子）



▲院内見学



▲認知症サポーター研修



▲防災消火訓練



▲研修最後に事務部長より

「新人の皆さんお疲れさま動画」を制作しました

研究所附属病院 事務部 医事課 井上 有紀

3月初めに、渡り廊下を歩いていると川口看護部長に呼び止められ「今年1年目の新人さんに向けて“頑張ったね！”っていう思いを伝える動画の制作をお願いしたい」と言われ、2020年入職の職員の皆さんに向けた動画制作が始まりました。

2020年入職の職員の皆さんは、例年なら開催されるイベント（お花見歓迎会、岡山桃太郎まつりのうらじゃ踊り、忘年会の出し物など）が無かったため、私たち自身も、初めましての方が多くおられました。しかし、撮影の協力をお願いすると、皆さん快く協力してくれました。ご協力いただき本当にありがとうございました。

入職して3本の動画を制作した栗原さんと、初の動画作成の共同作業が始まりました。日常写真を撮りためていたわけではなかったため、限られた素材の中で写真を探し、制作を進めました。曲の選曲も何曲も候補を考え、職員の皆さんの気持ちや朝礼に合う曲を探しました。日々の仕事のことが歌詞に織り交ぜられているため、“皆さんそれぞれの思いとリンクさせて聞いてもらえたら良いな〜”と思い、誰もが聞いたことがあるであろうN社の携帯のCMソングで使用されていた曲を選びました。

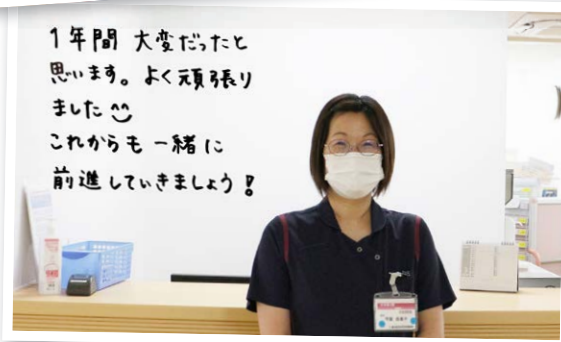


▲撮影と編集頑張りました！

制作期間は短かったですが、研修の写真など懐かしい写真も織り交ぜ、動画制作をする私たちもこの1年を振り返る良い機会になりました。

また、課長・室長・次長・主任の皆さま、突然のお願いでしたが、全員から素敵な言葉をいただき動画に載せることができました。ありがとうございます！「普段伝えることのできない気持ちを、この機会にぜひ新人の皆さんに伝えてほしい」と思い、メッセージをお願いしました。ご覧になった皆さんどうだったでしょうか？一生懸命働いている後輩の姿、部下を見守る上司の温かい言葉をどのように感じましたか？きっと同じ部署の先輩たちも同じように見守っていてくれて、一緒にこれから頑張ろうという気持ちでいると思います。

本当に入職から1年間お疲れさまでした！今年は2年目、先輩として去年の新鮮な気持ちを忘れず、一步一步みんなで進んでいけたら良いなあと思います。



▲直属の上司からの手書きメッセージを動画に載せて

監査 法人による会計監査を受けています

創和会本部 経営管理部 課長補佐 小川 みゆき

■会計監査って何？

患者さんがお支払いになる現金や診療報酬請求、職員の給料や医薬品・備品の購入、高額になる医療機器の購入など、収入や支出に関する会計処理が正しくできているかを、会計のスペシャリストである公認会計士が監査することを会計監査と言います。医療法の改正により2019年3月決算から、創和会は会計監査が義務付けられています。写真は、稟議書や請求書などを会計士が見て、質問を受けている様子です。きちんと処理できていない

事を発見すると、「指摘事項」を文書で残し、毎回改善されたかの確認を受けます。本部から細かい指摘があるのは、正しい会計処理ができるようになるためです。ご協力をよろしくお願いします。



■棚卸の現物確認

創和会では、毎年3月31日に棚卸を行います。購入月に、医薬品費や医療材料費として処理しているもののうち、まだ使用していないものは翌年度の費用にするために、現物を一つ一つ数え、購入単価を掛け合わせて未使用分の金額を算出します。正しく数えているか、適切な購入単価を掛け合わせているかを確認するために、会計士が実際に数を数え、根拠となる購入単価を請求書から拾い出して検証しま



▲研究所附属病院の中材で、現物確認(棚卸)



▲3月31日に現金も数えます

す。また、金庫にある現金と会計の帳簿額が一致しているかも、実際にお金を数えて確認します。

5月には決算処理や決算書の監査が行われます。創和会の収支結果は、このように監査法人によって確認を受けて作られているのです。



▲監査法人の担当の皆さん

～しげい病院 ホッ！とスポット～

ビオトープ6年間の記録から 昆虫館職員厳選、おすすめショット！

しげい病院の「ホッ！とスポット」として、本館1階多目的ホールから眺められるよう倉敷昆虫館入り口横にビオトープが整備されたのが2016年です。約2坪の小さな人工池の周りに、重井薬用植物園の協力で植えられたいくつかの植物があります。自然に生えた雑草も残していますが、そんな狭い空間にでも自然と生き物が集まってきて、いろんな繋がりやドラマがあります。6年間観察を続けてその様子を記録した中から、昆虫館職員の“押しショット”をご紹介します。

アオスジアゲハ



青緑の模様のところには、
りんぞんがなくて半透明

クロバネセイボウ



青緑に光輝く、飛ぶ宝石です

ダンダラテントウ



ひかひかな背中に
景色が映っています

オオスカシバ



まるで空飛ぶウグイス餅

モグリバエ類



葉に食べ進んだ道が残るんです

ニホンミツバチ



集めた花粉団子は
特大サイズ！

コセアカアメンボ



水面模様が芸術的です

ウドンゲ



なんじゃこれ
ワサカゲロウ類の卵です

ナミアゲハ幼虫



食べる葉っぱ足りなくて
困っています

コガタスズメバチの巣



こんなに大きくなるまで
気がつかなかったとはー

トンボ類



羽化する様子を目撃しました

ネコ



あの足跡と糞の主は、
君だったのか…

シオヤアブ



なんとハチをゲットしました

ハネナガイナゴ



美味しそうに食べるんです

オオシオカラトンボ



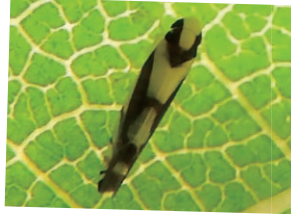
池の番人
他のトンボがきたら追いかけます

ベニシジミ



フリットアの花に惹かれて
やってきました

シロズヒメヨコバイ



白黒といえば
パンダっぽいですね

キタキチョウ



優雅にお食事中

シジュウカラ



ミズアオイ槽で行水をしていました

メジロ



可愛いけど実はあざとい www

ホタルガ



オシャレな模様!
これでも蛾なんです

ヒノキカワモグリガ



キツネ顔にみえませんか?
ヒゲ付です

アマガエル



まったりと日向ぼっこ中

クマゼミ



お食事中を上から
眺めてみました

ゲンジホタル



えっ!このビオトープに
ホタルが来ていたなんて

街中の小さなビオトープで見られた風景のひとつはいかがだったでしょうか。興味と好奇心で眺めてみると、新しい発見や感動がいっぱいです。そんな6年間のビオトープ昆虫記録を、倉敷昆虫館 HP のビオトープ紹介ページに掲載しています。これからも少しずつ変化していく様子も楽しみながら、昆虫など生き物たちの記録を続けていければと思っています。お問い合わせや、なにかお気づきのことなどありましたら、昆虫館職員までお声かけください。

倉敷昆虫館 HP https://www.shigei.or.jp/ento_museum/



2021 年度 はあもにい編集委員

今年はこのメンバーで頑張ります。よろしくお願いします!!



しげい病院

薬剤部
IT 推進・情報管理室
通所・訪問リハビリテーション部

有松 利恵
松田 圭市
谷口 由加理



研究所附属病院

事務部
看護部
事務部
重井医学研究所

栗原 玲音
丸谷 優綺
井上 有紀
北村 真優美

催し物案内

重井薬用植物園

植物園を楽しむ会

「青嵐の里山を楽しむ」

日時：5月15日(土)
10:00～12:00

会場：重井薬用植物園



編集後記

●最近中3の息子の心の成長が著しい。これまで自己主張があまりなかったのが「靴は〇〇が欲しい」「上着は〇色で動きやすいのが良い」「今日は～をしてから次に～をする」「僕は～だと思ってるから、自分でやってみる」など、自分の考えをハッキリと言えるようになってきた。身長はとっくに抜かされ、靴と洋服のサイズも夫と同じになり「大きくなったなあ」と思っていたら、心までどんどん成長し、「そろそろ私も子離れしなくちゃ」と寂しく思いつつ…(涙)でも「歯磨きしなさい!顔洗いなさい!提出物出しなさい!」は、相変わらず毎朝恒例で、朝から同じことをガミガミ言っとうんざりしながらも、こんな時間もあと数年だと思えば、とても愛おしく感じる今日この頃。(OS)

●編集委員2年目となりました。去年は、あっという間の1年でした!コロナ禍でイベントもなく毎月の集まりでは「何もない」「コロナですもんね」と記事に悩む1年でした。今年もまだまだ悩まされそうな1年ですが、「風の時代」の今、新しい何かを発見したり、新しい記事の切り口を見つける年にしたいと思います。今年もどうぞ、よろしくお願いいたします。(IY)



重井薬用植物園

生きることの尊さと健康であることの幸せを、すべての人と共に

しげい病院

〒710-0051 倉敷市幸町2-30
TEL086(422)3655 FAX086(421)1991

岡山しげい訪問看護ステーション

岡山しげい居宅介護支援事業所
〒701-0202 岡山市南区山田2117
TEL086(282)4300 FAX086(282)4301

重井医学研究所附属病院

〒701-0202 岡山市南区山田2117
TEL086(282)5311 FAX086(282)5345

倉敷しげい訪問看護ステーション

倉敷しげい居宅介護支援事業所
〒710-0051 倉敷市幸町2-30
TEL086(422)8111 FAX086(421)1991

重井薬用植物園

〒710-0007 倉敷市浅原20
TEL086(423)2396

重井医学研究所

〒701-0202 岡山市南区山田2117
TEL086(282)3113 FAX086(282)3115

倉敷昆虫館

〒710-0051 倉敷市幸町2-30
TEL086(422)8207



Instagram
はじめました!
shiga_hospital